桜井の訣別（わかれ）

作詞：落合直文、作曲：奥山朝恭

□□□

青葉の茂れる桜井の
里のこたりの夕まの
木の（こ）の末のつぐた
世の（こ）の末のつぐた
忍ぶ（は）は涙（は）は露（は）は
散る（は）は涙（は）は露（は）は
袖の上（え）に

正成（ま）の（ま）の（ま）の
我（は）は（は）の（は）の
父（は）は（は）の（は）の
彼（は）は（は）の（は）の
と（は）は（は）の（は）の
汝（は）は（は）の（は）の
く（は）は（は）の（は）の
と（は）は（は）の（は）の
帰（は）は（は）の（は）の
故郷（は）は（は）の（は）の
で（は）は（は）の（は）の
来（は）は（は）の（は）の
つ（は）は（は）の（は）の
れ（は）は（は）の（は）の
も（は）は（は）の（は）の

父（は）は（は）の（は）の
見（は）は（は）の（は）の
い（は）は（は）の（は）の
こ（は）は（は）の（は）の
ま（は）は（は）の（は）の
御（は）は（は）の（は）の
供（は）は（は）の（は）の
お（は）は（は）の（は）の
ん（は）は（は）の（は）の
と（は）は（は）の（は）の
も（は）は（は）の（は）の
仕（は）は（は）の（は）の
ろ（は）は（は）の（は）の
と（は）は（は）の（は）の
も（は）は（は）の（は）の
に（は）は（は）の（は）の
え（は）は（は）の（は）の
ん（は）は（は）の（は）の
死（は）は（は）の（は）の
出（は）は（は）の（は）の
の（は）は（は）の（は）の
旅（は）は（は）の（は）の

汝（は）は（は）の（は）の
わ（は）は（は）の（は）の
己（は）は（は）の（は）の
世（は）は（は）の（は）の
早（は）は（は）の（は）の
仕（は）は（は）の（は）の
え（は）は（は）の（は）の
く（は）は（は）の（は）の
ま（は）は（は）の（は）の
生（は）は（は）の（は）の
立（は）は（は）の（は）の
れ（は）は（は）の（は）の
よ（は）は（は）の（は）の
ち（は）は（は）の（は）の
か（は）は（は）の（は）の
国（は）は（は）の（は）の
の（は）は（は）の（は）の
た（は）は（は）の（は）の
め（は）は（は）の（は）の
お（は）は（は）の（は）の
お（は）は（は）の（は）の
き（は）は（は）の（は）の
み（は）は（は）の（は）の
に（は）は（は）の（は）の
ん（は）は（は）の（は）の

この（は）は（は）の（は）の
君（は）は（は）の（は）の
この（は）は（は）の（は）の
行（は）は（は）の（は）の
老（は）は（は）の（は）の
い（は）は（は）の（は）の
け（は）は（は）の（は）の
た（は）は（は）の（は）の
よ（は）は（は）の（は）の
母（は）は（は）の（は）の
正（は）は（は）の（は）の
行（は）は（は）の（は）の
待（は）は（は）の（は）の
郷（は）は（は）の（は）の
ま（は）は（は）の（は）の
さん（は）は（は）の（は）の
を（は）は（は）の（は）の
贈（は）は（は）の（は）の
り（は）は（は）の（は）の
て（は）は（は）の（は）の
ん（は）は（は）の（は）の

と（は）は（は）の（は）の
別（は）は（は）の（は）の
ま（は）は（は）の（は）の
空（は）は（は）の（は）の
誰（は）は（は）の（は）の
あ（は）は（は）の（は）の
わ（は）は（は）の（は）の
れ（は）は（は）の（は）の
か（は）は（は）の（は）の
血（は）は（は）の（は）の
泣（は）は（は）の（は）の
く（は）は（は）の（は）の
そ（は）は（は）の（は）の
の（は）は（は）の（は）の
声（は）は（は）の（は）の
を（は）は（は）の（は）の
ん（は）は（は）の（は）の
と（は）は（は）の（は）の
き（は）は（は）の（は）の
み（は）は（は）の（は）の
だ（は）は（は）の（は）の
れ（は）は（は）の（は）の
の（は）は（は）の（は）の

桜井の訣別（わかれ）

作詞：落合直文、作
曲：奥山朝恭

1

青葉茂れる桜井の
里のわたりの夕まぐれ

■■■

木（こ）の下蔭（したかげ）に駒とめて

世の行く末をつくづくくと

忍ぶ鎧（よろい）の袖の上（え）に

散るは涙かはた露か

2

正成（まさしげ）涙を打ち払い

我子正行（まさつら）呼び寄せて

父は兵庫へ赴かん

彼方の浦にて討死せん

汝（いまし）はいじままで来つねども

とくつく帰れ 故郷へ

桜井の訣別（わかれ）

作詞：落合直文、作
曲：奥山朝恭

3

父上いかにのたもうも
見捨てまつりて我一人

いかで帰らん 帰られん

この正行は年こそは

いまだ若けれ もろとも

御供（おんとも）仕（つか）えん

死出の旅

4

汝（いまし）をいじより帰さんは

わが私（わたくし）の為ならず

己（おの）れ討死なさんには

世は尊氏（たかうじ）のままならん

早く生い立ち 大君（おおきみ）に

仕えまつれよ 国のため

桜井の訣別（わかれ）

作詞：落合直文、作
曲：奥山朝恭

5

この一刀（ひとよぎ）は往（むか）し年
君の賜いし物なるぞ

この世の別れの形見にと

汝（いまし）にこれを贈らてん

行けよ 正行故郷へ

老いたる母の待ちまさん

6

ともに見送り 見返りて

別れを惜む折からに

またも降り来る五月雨（さみだれ）の

空に聞こゆる時鳥（ときどり）

誰れか哀れと聞かざらん

あわれ血に泣くその声を